

(5月27日時点)

2024年度立正地理学会研究発表大会プログラム

日時：2024年6月1日（土）9:00～16:50（受付8:40開始）

会場：立正大学熊谷キャンパス アカデミックキューブ（19号館）2階
A205教室（発表会場）、A201教室（会員控室・書籍等販売）

注意点：

- ・口頭発表と優秀卒業研究発表は、交代の時間を含めて発表15分と質疑応答4分、全体の持ち時間は20分です。*は発表者
- ・ポスターと地理写真の展示時間は9:00～16:00、ポスター発表者による紹介（1分/件）は11:45～11:55、発表コアタイムは13:00～13:50です。

〈開会挨拶〉

〈口頭発表1〉9:00～10:00

- A1 坂本大知*・武田周平・立川來龍（立正大・学）：岐阜県高山市における出店動向からみた宮川朝市の展開
- A2 中村有希*・米田康晟・木村修万（立正大・学）：岐阜県高山市における朴葉採集の展開
- A3 岩動志乃夫（東北学院大）*・東海林尊（山形銀行）：山形県におけるクラフトビール醸造所の立地と展開

〈口頭発表2〉10:00～11:00

- A4 横山俊一（長野県文化振興事業団）：長野県伊那市における観光防災マップ作成と活用
- A5 鈴木厚志*（立正大）・崎浜 靖（沖縄国際大学）：大正期・昭和初期の宮古島マラリア予防・防遏対策－関連規則の制定と実際－
- A6 永野征男（日本大）：居住環境の再編と「地区計画制度（都市計画法）」

〈2023年度優秀卒業研究発表と記念品授与（立正地理学振興会）〉11:00～11:40

- ①奥村敦至（立正大・院）：養老川白尾の川廻しにおける人工短絡河川地形の土地利用展開
- ②笹本和希（株式会社パスコ）：青森県八戸市における災害時の湧水・地下水の有用および供給可能範囲の検討

〈田中啓爾記念地理学奨励賞授与式（立正地理学振興会）〉11:40～11:45

〈ポスター発表紹介〉 11:45～11:55

〈総会について〉 11:55～12:05

〈昼休み〉 12:05～13:00

A201 教室（会員控室）において、書籍（古今書院）の展示・販売、図書交換会を予定しています。図書交換会につきまして、出展者は評議員に限ります。出展された図書は、会員であれば、どなたでもお持ち帰り頂けます。

〈ポスター発表コアタイム〉 13:00～13:50

- P1 本多一貴*・伊藤大平・佐藤颯哉（立正大・院）・片柳 勉（立正大・非）：熊谷戦跡マップによる戦災の記憶の継承と課題
- P2 山田淳一（立正大）：北海道東川町「道の駅道草館」前の横断歩道を対象とする地域調査の検討
- P3 島津 弘（立正大）：中国・河西回廊地域の河川地形・堆積物と石窟寺院の立地
- P4 井上裕斗*・鈴木蒼麻・山口拓弥（立正大・学）・原 美登里（立正大）：熊谷市平戸地区における学生主体の地域協働事業の成果 ～地域交流イベントを事例として～
- P5 山口拓弥*・鈴木蒼麻・井上裕斗（立正大・学）：長崎県島原市における湧水群と水路の利活用 ～住民による生活利用と観光活用～
- P6 伊藤悠河*・永山太智（立正大・学）：長崎県壱岐島における海女漁の経営と課題
- P7 小山太翔*・相原知弥（立正大・学）：長崎県壱岐市における神社ツーリズムの可能性に関する一考察
- P8 河野結貴弥*・内館 聖・小出翔大（立正大・学）：長崎県壱岐市における「勝本朝市」の特徴と維持
- P9 橋本翔太*・野村勇輔・飯田健斗（立正大・学）：観光客増加が地域にもたらす変化－岐阜県高山市における文化資源に着目して－

〈口頭発表3〉 13:50～14:50

- A7 小川滋之（ふじのくに地球環境史ミュージアム）：本州中部における垂直的、水平的なヤエガワカンバの分布と林分形成の違い
- A8 島田 基（立正大・院）：足尾山地南部における谷口間隔の計測と等間隔性
- A9 原園克之（立正大・院）：山梨県甲府盆地における聖牛の分布と整備の背景

〈休憩〉 14:50～15:00

〈口頭発表4〉 15:00～16:00

- A10 上村三郎（上村技術士事務所）：アフリカの村落給水に不可欠な井戸診断システムの導入
- A11 河野 忠（立正大）*・山田恭範（立正大卒業生）・今井 潤（水資源機構）：大井川の洪水シミュレーションと舟型屋敷について
- A12 松尾忠直*・宍戸隆史（立正大）：大学教育におけるドローン利活用の試みと現状

〈澤田裕之立正地理学会元会長を偲ぶ会〉 16:10～16:40

- ・黙祷
- ・小川 護会員・常井仁美会員・高田明典会員による思い出の辞

〈閉会挨拶〉

〈懇親会〉 16:50～18:20

会場：インターネットカフェ（アカデミックキューブ1階）

=====

〈地理写真展示〉

- G1 本多一貴（立正大・院）：初めての国際学会－韓国・ソウル－
- G2 伊藤大平（立正大・院）：皇居とその周辺にみられる歴史的な地物
- G3 太田勇真（立正大・学）：忠別湖の様子とその周辺
- G4 高橋稔大（立正大・学）：東川町における家具産業
- G5 片桐大智（立正大・学）：東川町の水
- G6 高尾 遥（立正大・学）：北海道東川町における公共交通の現在
- G7 東ひなた（立正大・学）：東川町旭岳の景観と保護・利用
- G8 亀井啓一郎（立正大・非）：港北ニュータウンにおける景観変容－1993年から2023年－
- G9 島津 弘（立正大）：地図を使ったスポーツ，オリエンテーリングの世界最大の大会，スウェーデン・オーリンゲン大会